



学校だより

加戸の丘 R6

教育目標「よく学び よく働き よく遊ぶ」

坂井市立加戸小学校

第6号

【全国学調分析特集】

令和6年10月17日

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査・・・本校の結果分析（概要）

4月18日(木)に6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査については、既に報道で全国の傾向、福井県の状況等が公表されています。本校の結果について分析を行ったところ、以下のような傾向がありました。

※ただし、本調査で測定できるのは、学力の一側面であるということをご承知おきください。

分析結果をもとに、良好なところは更に伸びるように、課題が見られるところは改善できるように、今後も「楽しく分かる授業」を目指して授業の方法や形態などを工夫しながら取り組んでいきたいと考えています。

### 教科に関する調査

今年度は、国語と算数の調査がありました。本校の平均正答率(%)は、国語は、全国平均とほぼ同じで県平均を少し下回りました。算数は、残念ながら、県平均、全国平均を下回っています。教科、問題ごとに分析すると、以下のようなことが分かりました。

【国語】 ○良好なところ、△課題がみられるところ

○情報の扱い方に関する事項、言語文化に関する事項について良好な結果でした。

○「話すこと・聞くこと」について良好な結果でした。



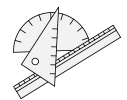
資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができています。目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができています。

○「短答式」で答える問題について良好な結果でした。

△「読むこと」「書くこと」について課題があります。

目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。人物像を具体的に想像すること。

【算数】 ○良好なところ、△課題がみられるところ



○「図形」について良好な結果でした。

直方体の見取り図について理解できています。円の直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係を理解できています。角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できています。

△「数と計算」「変化と関係」に課題があります。

問題場面の数量の関係を捉え、式に表すこと。除数が小数である場合の除法で、除数と商の大きさの関係について理解すること。速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察すること。速さの意味について理解すること。

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査・・・本校の結果分析（概要）

### 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査 ○良好なところ、△課題がみられるところ

○朝食を毎日食べていたり、起床時刻がほぼ決まっていたりといった基本的な生活習慣が身に付いています。（県平均・全国平均と比べて）

○人の役に立つ人間になりたいと思ひ、人が困っているときは進んで助けています。

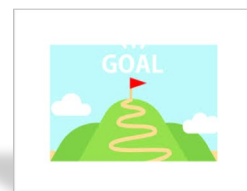
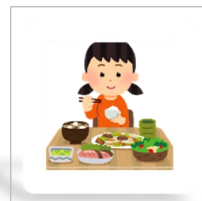
○「自分にはよいところがあると思う」と答える児童が多いです。

○健康に過ごすために教えられたことを普段の生活に役立てている児童が多いです。

○「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、くふうすることができている。」「学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1時間以上勉強している」と答える児童が多いです。（県平均・全国平均と比べて）

△「普段（月曜日から金曜日）、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴をしている時間が1時間以上ある」児童が多いです。（県平均・全国平均と比べて）

△「放課後や週末に、家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている。」と答える児童が多いです。



### よりよい学びのために

①朝のスピーチなどを活用して、相手を意識した文章を書いたり、スピーチをしたりする機会を増やしていきます。そうして、聞く力の向上や他者の意見を聞いて自分の考えを生み出す力の向上を目指します。

②調べ学習やまとめの時間を活用し、文章や資料を見比べたり、文章から変化を読み取ったりする機会を増やしていきます。また、自分の考えがよりわかりやすくなるような資料を使うことを伝え、定期的に活動を計画します。

③型を与えて文章を書く機会、条件付きで作文を書く機会を増やし、文章を要約する力の向上を図ります。

④算数において、理由を説明する場面で、「隣の人に説明する」「他の人の説明を言葉に表す」などの場面を増やしていきます。また、穴埋めや型の利用など、個に応じた必要な支援もできるように、授業を計画します。

⑤作業的な内容は、実際に体験したり、生活場面に落とし込んで考えるなど、具体的に考えることができるように工夫します。

⑥タブレットパソコンの持ち帰りを実施し、タブレットパソコンを使っての家庭学習を進めることで、タブレットパソコンを学習に活用する時間を増やすように努めます。

